

ふくしま 授産事業振興会だより

第28号

平成29年3月発行

(発行者)

福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
<http://www.f-jusan.jp>

〒960-8012 福島市御山町8番30号(福島県保健衛生合同庁舎4階) TEL 024-563-1228 FAX 024-563-1234 E-mail: info@f-jusan.jp



“農福連携を地域活性化につなげよう”



福島県授産事業振興会

会長 三浦 正一

会員の皆様には日頃より当会の運営にご支援、ご協力をいただき厚く感謝申し上げます。近年、農業においては、働き手の高齢化が進み担い手が不足している、福祉では、受託作業の減少や自主製品の販売不振等で賃金が上がらないといった課題が生じております。

農と福祉、双方の課題を解決しながらお互いに利益を上げるという農福連携が国において推進されてきており、農業分野において障がい者就労が全国的に広がりつつあります。

本県においても今年度から農福連携に係る事業の取り組みが始まり、当会がその事業の委託を受けて、すでに農業分野に参入している事業所と連携して農家への障がい者派遣やマルシェ（市場）を首都圏や県内のイベント会場で開催するなど、さらには、本県特産の果物を利用した商品開発など農産物加工の企画・開発支援などを推進しております。

福祉事業所が農業へ参加することは、障がい者の生きがいや健康にもつながり農家とのふれあいは地域の活性化に結びつくものであり、当会としては、これらの成果を踏まえて新たな工賃向上施策として農福連携を一層推進して参りたいと考えております。

また、月額平均工賃は年々向上しておりますが、県の目標工賃には約5千円の開きがあり、さらなる工賃水準の底上げを図るために「障害者優先調達法」の活用をはじめ、共同受注の促進、市場動向に即した商品開発と販路の拡大など会員の皆様と連携して工賃向上に取り組んで参りますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。



ごあいさつ



福島県保健福祉部障がい福祉課長

三浦 正一

ちかし

福島県授産事業振興会の皆様におかれましては、本県の障がい福祉行政の推進につきまして、御支援、御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、県におきましては、平成27年度から29年度までの3か年について「第3期福島県障がい者工賃向上プラン」を策定し取組を推進しております。

今年度からは、工賃向上支援事業の一環として障がいのある方が農業分野にチャレンジする「農福連携による障がい者の就農促進事業」に新たに取り組むこととし、人手が足りない農家への派遣、6次化製品開発のための研修会や農産物を販売するためのマルシェの開催等を行っております。

新たな取組をとおして、障がいのある方が様々なことを経験し、自らの希望や力量に応じた働き方を選択して、一定の収入を得ることで、働くことの達成感や喜びを感じながら、自立した生活を実現できるよう、支援してまいりたいと考えております。

今後とも、福島県授産事業振興会をはじめ関係機関と連携して積極的に事業を展開したいと思っておりますので、引き続き、皆様のお力添えをお願いいたします。

結びに、会員の皆様の御健勝を御祈念申し上げましてあいさつとさせていただきます。

第22回通常総会の開催

平成28年5月27日（金）に福島市民会館において、平成28年度（第22回）福島県授産事業振興会通常総会が開催されました。総会には、会員122名（委任状80名含む）が出席し、菊地洋子副会長が司会を務め、菅沼喜代治副会長の開会のことばで進行しました。

はじめに、三浦正一会長より、全国的に注目が高まっている「農福連携」事業が本県でも実施することになり、県から当振興会に事業を委託されることになった。当振興会としては農業分野に参入する事業への多様な支援策を講じて、障がい者の勤労意欲の醸成や工賃の向上に繋げて参りたい。とあいさつが述べられました。次いで、来賓の緑川博人福島県保健福祉部障がい福祉課主幹兼副課長（県保健福祉部長代理）、安部光世福島県社会福祉協議会事務局長（県社会福祉協議会長代理）から祝辞が述べられ、来賓紹介を行った後、斎藤功氏（まちなか夢工房所長）を議長に選出して議事が進められ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

本総会の提出議案は次のとおりです。

- 議案第1号 平成27年度事業報告の承認について
- 議案第2号 平成27年度一般会計収入支出決算書の承認について
- 議案第3号 平成27年特別会計（障害者就労支援事業所コーディネーター事業及び授産施設等震災復興支援事業）の承認について
- 議案第4号 平成28年度事業計画書（案）について
- 議案第5号 平成28年度一般会計収入支出予算書（案）について
- 議案第6号 平成28年特別会計（障害者就労支援事業所コーディネーター事業及び授産施設等震災復興支援事業）収入支出予算書（案）について
- 議案第7号 平成28年特別会計（農福連携支援事業）収入支出予算書（案）について
- 議案第8号 定款の一部改正について



開会あいさつ(菅沼副会長)



来賓祝辞(県障がい福祉課 緑川主幹)



来賓祝辞(県社協 安部事務局長)



閉会あいさつ(村田副会長)



工賃向上支援事業

◆経営意識向上研修会

工賃向上は施設運営にとっても利用者の生活の質を高める上でも実施していかなければならない課題です。今回の研修では【顧客のウォンツ（欲求）やニーズ（要望）】を学び、学んだ知識をもとに、【自社の製品の価値】を再認識し、【それをどう売るか？】や【商品の特性に応じた販売促進の具体的計画】をどのように立てるか、を内容として行いました。

- 期 日 1日目：平成28年6月28日（火）
2日目：7月8日（金）
- 場 所 福島県農業総合センター（郡山市）
- 参加者 19事業所・23名
- 講 師 阿部 憲夫氏（経営士・ITコーディネーター）
佐藤 直美氏（中小企業診断士・ITコーディネーター）



◆“会津木綿”ブランドの確立に係る説明会（日本セルフセンターと共催）

施設製品の全国展開を見据えて、会津木綿製品のブランド化を進めるために、会津木綿製品を作成している事業所やこれから製品づくりに取り組みたい事業所を対象に説明会を開催しました。

- 期 日 平成28年9月30日（金）
- 場 所 福島市民会館
- 参加者 8事業所・11名
- 講 師 暮部 達夫氏【(株)アルデバラン代表取締役】
迫 一成氏【ヒッコリートラベラーズ・代表】

■ブランディングに関するミーティング

- 期 日 平成28年12月2日（金）
- 場 所 コパン・クラージュ はらっぱ
- 参加者 6事業所・13名
- 講 師 迫 一成氏【ヒッコリートラベラーズ・代表】
野中 春花氏【ヒッコリートラベラーズ】



“会津木綿”とは、会津若松市で生産される綿織物で吸水性と保温性が高く、通気性に優れていたため、主に日常着や野良着に使用されていた。多彩な縞模様の素地で今では、着る物の他、インテリア用品、小物類など幅広く利用されている。県の伝統的工艺品に指定されている。

◎インターナショナルギフトショーに出品した会津木綿製品
【29.2.8～10東京ビッグサイト】



◆先進地視察研修

岩手県内で工賃が高い事業所の視察を行いました。

○期 日 平成28年10月7日（金）

○参加者 15事業所・20名

○視察先 ◇社会福祉法人平成会（一関市）

- ・ブナの木園（製缶作業、レンタルおしぼり、パソコン作業）
- ・ルンルン（花卉生産・販売、段ボール組立、製麺作業）
- ・農業天国（サツマイモ等栽培、干し芋加工）

**◆工賃底上げ計画セミナー（日本セルフセンターと共催）**

“「行動なくして、変化なし」職員皆様の行動が工賃向上につながります”をテーマに工賃向上を目指す事業所の管理者、職員を対象に、請負事業の見直し方法や低工賃（1万円以下）にとどまっている事業所の具体的な解決策について指導助言をいただきました。

○期 日 1回目：平成28年10月17日（月）

2回目： 11月28日（月）

○場 所 1回目：福島県文化センター

2回目：福島県農業総合センター

○参加者 33事業所・41名

○講師 関原 深氏【(株)インサイト代表取締役】



農福連携支援事業

農業の多様な担い手の確保や障がい者の新たな就労の場の創出につながるよう福祉事業所の農業への参入や農業者による障がい者の雇用の促進、福祉事業所における6次化製品開発・販路拡大など農業と福祉の連携による障がい者の工賃向上に取り組んでいます。

◆「農福連携勉強会」を開催

農場において、パッションフルーツの栽培法を学びパッションフルーツを使用したピューレ造りを実演しました。また、県中保健所から職員を派遣していただき、食品衛生や食品表示の研修会を実施しました。

- 期 日 平成28年9月12日（月）
- 場 所 田村市大越町
- 参加者 19事業所・33名
- 講 師 佐久間辰一氏【元農業高校教諭】



◆農家への障がい者派遣

農家から要請を受けて、施設利用者の皆さんが農作業を行いました。



落花生の播種作業



ミョウガの収穫作業

◆農福マルシェの開催

県内外においてマルシェ（市場）を開催しました。



農水省・厚労省イベント
安倍昭恵首相夫人来店
（東京有楽町駅前広場）



フラワーセンター冬まつり
（いわき市）



アンテナショップ郡山
（イトーヨーカドー郡山店）

展示即売会・アンテナショップ

◆県外での販売会の開催

- 1 ナイスハートバザール in せんだい (春)
 - 期 日 平成28年4月1日 (金)～6日 (水)
 - 場 所 JR 仙台駅「2階コンコースステンドグラス前」
 - 参加数 12事業所
- 2 埼玉県高齢・障害者ワークフェア2016
 - 期 日 平成28年9月15日 (木)
 - 場 所 浦和コミュニティーセンター・浦和駅東口駅前広場
 - 参加数 3事業所
- 3 全国ナイスハートバザール in みやぎ
 - 期 日 平成28年10月24日 (月)～28日 (金)
 - 場 所 JR 仙台駅「2階コンコースステンドグラス前」
 - 参加数 12事業所
- 4 日立グループ復興支援東北・熊本物産フェア
 - 期 日 平成28年11月14日 (月)
 - 場 所 東京・池袋サンシャインシティ
 - 参加数 7事業所
- 5 ふくしま大交流フェア
 - 期 日 平成28年12月23日 (金・祝)
 - 場 所 東京国際フォーラム
 - 参加数 8事業所



ナイスハートバザール
(仙台駅)



埼玉県高齢・障害者ワークフェア2016
(浦和駅東口駅前広場)



日立グループ復興支援東北・熊本物産フェア
(池袋サンシャインシティ)



ふくしま大交流フェア
(東京国際フォーラム)



全国ナイスハートバザール in みやぎ
(仙台駅)

◆第5回福島銀行大展示即売会

…最大規模の82事業所が出店、売上げも過去最大380万円…

12月9日（金）から11日（日）までの3日間、福島銀行本店大ホールにおいて大展示即売会を開催しました。今回は、復興応援ブースを設け、宮城・岩手・熊本の施設商品も販売しました。全国的に有名なくまもんキャラクターの商品が大人気で売り場前には大勢の人だかりができました。

今回は特別に12階の展望ラウンジを開放して、コーヒー・焼き菓子を飲食しながら福島市内を一望するなど楽しんでいただきました。

また、ステージイベントも盛りだくさんで、施設の皆さんによる歌とダンスや地元出身のシンガーソングライター菅野恵さんのミニコンサートもあり、大いに盛り上がりました。



大ホール販売会場



12階展望ラウンジ（軽食喫茶）



“あたまがふくしまちゃん”と事業所の皆さん



猪苗代のゆるキャラ ひでよくんとふくしまちゃんの対談

◆アンテナショップ「福祉の店」

福島市、郡山市、いわき市の3会場では毎年2回定例開催していますが、今年から会津若松市も年1回定例開催することになりました。

場 所		開 催 日	
		1 回目	2 回目
福 島 市	中合福島店	28. 8 .18～23(6日)	28.10.20～25(6日)
郡 山 市	イトーヨーカドー郡山店	28. 6 . 9～20(12日)	29. 1 .19～30(12日)
い わ き 市	イオンいわき店	28. 7 . 7～18(12日)	28.11.10～21(12日)
会津若松市	アピタ会津若松店	28. 9 .23～25(3日)	

授産施設新製品(商品)開発コンクール・ 授産施設関係職員等研修会

平成28年度授産施設新製品(商品)開発コンクール及び授産施設関係職員等研修会が平成29年1月28日～29日の両日にわたり「飯坂ホテル聚楽」(福島市飯坂町)で開催されました。

コンクールは、自立研修所ビーンズ・エル白河が金賞 新設の「農福連携特別賞」には、ゆうゆうハウス

コンクールは、非食品の部に、14施設から22点、食品の部には、13施設から21点、全体では、22施設から43点の応募がありました。なお、今回は、食品の部に農福連携特別賞を新たに設けました。入賞製品は次のとおりです。

◆非食品の部

- 金賞 藍染めストール 【自立研修所ビーンズ】 南相馬市
- 銀賞 スプーン 【笹森の郷】 福島市

◆食品の部

- 金賞 福島県産エゴマチーズブレッド 【地域生活サポートセンターエル白河】 白河市
- 銀賞 唐がらしみそ 【なこそ授産所】 いわき市
- 農福連携特別賞 チョコクッピー 【ゆうゆうハウス】 会津坂下町

◆特別賞

- 福島民報社賞 ほっこりシリーズ「コースター」 【ファームもみの木】 福島市
- 福島民友新聞社賞 乾燥野菜 【あたご共同作業所】 南会津町



金賞「藍染めストール」



金賞「福島県産エゴマチーズブレッド」



銀賞「スプーン」



銀賞「唐がらしみそ」



福島民報社賞「ほっこりシリーズ コースター」



福島民友新聞社賞「乾燥野菜」

農福連携特別賞
「チョコカップ」

研修会に、なすびさんが講演 県内の施設・関係者95名が参加して開催されました。

1日目（28日）は、NPO 法人日本セルフセンター常務・事務局長 太田衛様から「被災地支援事業の取り組み」～東日本大震災から5年～と題しての実践報告、福島県障がい福祉課 坂中聖子様より「福島県の工賃の現状と工賃向上支援事業について」の行政説明が行われました。

2日目（29日）は、今年度から事業展開を図ることになった「農福連携」を一層推進するために、積極的に農業に取り組んでいる先駆的施設の職員に参加していただき、「農業と福祉の連携で福島を元気に」をテーマにパネルディスカッションを行いました。最後は、本県の震災復興のために多方面で活動されている、本県出身のタレント なすびさんによる「福島県の復活と再生を祈願し、エベレスト登山への挑戦」と題して講演をいただきました。



参加者の皆さん



パネルディスカッション



なすびさんの講演

施

設

紹

介

就労継続支援B型事業所 Works-SCS 笹谷

(福島市)



就労継続支援B型事業所「Works-SCS 笹谷」は開所してからもうじき4年。自主制作、施設外就労などの就労訓練作業だけでなく、レクリエーション活動も積極的に行い、のんびりと楽しみながら作業を行っています。

自主製作では木材（各種銘木、県産林檎材等）を用いてのボールペン、カトラリー類の製造、他にもあみぐるみの作成や裂き織、各種小物の製作、販売を行っています。

施設外就労として、ダイワハウス施工のアパート共有部分の清掃、ヤマト運輸株式会社の投函サービス事業「クロネコDM便」及び「ネコポス」の配達・投函サービスを受けて取り組んでいます。また、ドイツMAWA社製ハンガーの検品・梱包・Amazonへ発送作業などの委託を受けて取り組んでいます。

比較的若いメンバーが多く活気のある事業所です。伏拝にある「Works-SCS 南福島」と合同で、フットサルやバスケ、バドミントンなどのスポーツやヨガ教室、護身術なども行います。自分のペースで就労に向けて、焦ることなく、楽しみながら、少しずつ進んでいける、そんな事業所です。(28. 7. 1入会)



多機能型事業所 NPO 法人夢あるき 夢の樹

(会津若松市)

平成24年4月に就労継続支援B型、自立訓練（生活）の多機能型として開所しました。近くには、飯盛山や、大河ドラマ「八重の桜」のシンボルとなった石部桜があります。毎年お花見の時期に事業所前でテント販売をし、観光客の方に足を運んでいただいております。

作業は、木工や箱折り、ラベル貼り等の下請け作業やリサイクル作業の他に、手工芸品や野菜作り、果実や野菜の乾燥も行っております。利用者の方の個性や特性、地域の特色を活かした作業内容や製品作りを心がけています。

自主製品の一部をご紹介します。みず木のお守りを入れた合格祈願セット、会津木綿のバッグフック（バッグ等を吊り下げることができる便利グッズ）は夢の樹オリジナル製品として根強い人気があります。また、昨年秋から販売を開始した、会津産の身知らず柿やりんごの乾燥製品も好評で、安定した生産、販売ができるよう取り組んでいます。

今後も製品の品質向上、販路の拡大を進め、地域の方々との関わりを深めながら、利用者の方々が少しでも自立した活動や生活が送れるよう、事業所の役割を担っていきたいと思います。(28. 4. 28入会)



就労継続支援B型事業所 COLORFUL

(会津若松市)

COLORFULは“人間性の回復”をテーマとし多様な方々の集いにおいて、その人らしい花を朗らかに咲かせゆく支援を提供し、地域の方々との交流を通して共に幸福を実現していくことを目指し、就労継続支援B型事業所として会津若松市の国道49号線沿いに、平成27年12月24日にオープンしました。

COLORFULでは、生花からの作品づくりをとおして、利用者様の心の癒し効果を期待するとともに、お一人おひとりの個性を大切にしながら、さらなる向上への支援を心がけております。

主な商品はプリザーブドフラワー・フラワーアレンジメント・寄せ植えなどで、生花の栽培から加工・販売までを行っております。また、販売店舗を併設するなど特色のある事業所となっています。

地域交流の場として定期的に事業所で「作品作りの体験教室」を開催し、開かれた事業所運営を心がけています。

現在の利用者は1日5名程度で、販売や商品構成、工賃向上等まだまだ取り組むべき課題が多くありますが、利用者様やそのご家族、地域の方々にCOLORFULがあって良かったと言っているだけの事業所、地域の灯台のような存在になれるよう職員一同、誠意努力して参りますのでよろしくお願いいたします。(28. 4. 26入会)



(金色事務所)

就労継続支援B型事業所 こまち作業所

(小野町)

こまち作業所は、平成17年4月に「こまち共同作業所」として開所以来、今年で12年を迎えます。

現在こまち作業所は就労継続支援B型事業所として、小野町及び田村市の障がい者のみなさまに日中活動の場を提供して、こころや身体に障がいを持つ人たちが自分らしく地域で生活していけるよう支援しています。

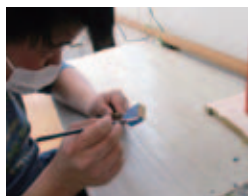
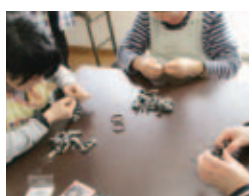
活動内容は、地元企業の下請け作業やウエス切り及びアルミ缶をつぶしてリサイクルに売ったり、木工品やアクリルタワシなどの手芸品の製作販売、絵画などの創作活動を行っております。現在利用者さんの味のある絵画を生かした製品の製作に取り組んでいるところです。

また週に一回は体力づくりと交流のために町の体育館をお借りしてビーチバレーボールなどをし、体を動かしたりもしています。

一年を通じていろいろな行事を行い、誕生会をみんなで祝ったり、バス旅行にいたり、夏祭りの時にはバーベキューをしたりしていて、利用者さんも大変楽しみにしてくれています。

利用者みなさんが笑顔で楽しみに来てくださる、そんな事業所を目指して活動しております。

明るく元気なこまち作業所です、みなさんどうぞよろしくお願いします。(28. 4. 1入会)



情報コーナー

◎平成27年度工賃（賃金）が全国34位に上昇しました。

厚労省から平成27年度の都道府県別の月額平均工賃が公表されました。本県は前年度から635円アップの14,206円となり、全国順位も38位から34位に上がりました。ちなみに、全国平均は、15,033円です。県が目標とする工賃20,000円を目指してさらにがんばりましょう。

◎寄付金をいただきました。

当会が実施している「経営意識向上研修会」の講師を務めていただいている、阿部憲夫様と佐藤直美様から授産事業の振興のために役立てて欲しいとご寄付をいただきました。両先生からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

◎29年度アンテナショップ「福祉の店」の開催日程（予定）

・郡山市	イトーヨーカドー郡山店	1期	6.9（金）～19（月）11日間
		2期	30.1.19（金）～29（月）11日間
・いわき市	イオンいわき店	1期	7.21（金）～31（月）11日間
		2期	11.10（金）～20（月）11日間
・福島市	中合福島店	1期	8.24（木）～29（火）6日間
		2期	10.19（木）～24（火）6日間
・会津若松市	アピタ会津若松店		9.26（火）～28（木）3日間

※ 開催日程は会場の都合により、変更する場合があります。

事務局通信

◎平成29年度（第23回）通常総会を開催します。

- ・日 時 平成29年5月30日（火）午後1時30分から
- ・福島県総合社会福祉センター講堂（福島市渡利）

◎平成29年度生産物賠償責任保険（PL保険）の更新について

展示即売会、アンテナショップなど当会が主催する販売会やネット販売、共同受注などで当会が取り扱う商品には、この保険に加入していることが必須条件です。

当会が一括契約する保険に加入している事業所は4月末で契約期間が満了になりますので、当会から更新の案内が届いたら忘れずに手続きをお願いします。



編集後記

東日本大震災から6年になります。障がい者施設の震災復興支援として、福島銀行さんから販売会の開催のお誘いをいただいて始めたイベントも回を重ねて5回になりました。

年々出店施設も増え、入場者も売上額も年々更新して、今や振興会のビッグイベントになり、来場された皆様からは次期開催を尋ねられるなどすっかり市民の間に定着してまいりました。ここに至るまでには福島銀行の皆様方の並々ならぬご支援とご協力があったことであり本当に頭が下がる思いです。障がい者の社会参加と工賃向上を目的として活動している振興会としては、このつながりを大事にしながらもっと多くの企業にも目を向けて施設と利用者の皆さんが作られたまごころ製品をアピールしていきたいと思っております。

事務局